



クラブに通って

田淵 恵美さん（長津田みなみ台店）

私達がセントラルに通い始めて、早いもので3年が経ちました。上の娘が小学校に入学する4月に隣の区から越してきて、引越しの当日、春のスイミング短期教室の初日でした。その初日、下の息子は笑顔で私と別れた後、大泣きしていましたし、娘はスイミングスクールを経験者でしたが途中から見学をしていました。今では娘はバタフライのレッスンをし、息子はクロールのレッスンまで進みました。息子はしばらく、レッスに通う事を嫌がっていました。その度にコーチに魔法の言葉掛けてもらい、励まされ、徐々に嫌がらなくなりました。とても感謝しています。そして、娘は今でもその見学をしていた時にコーチが話掛けてくれた話をしてくれます。泣きそうでも不安な時に、ランドセルの色を聞かれ、コーチのランドセルにまつわる思い出話をしてくれ、心がリフレッシュできた、と。

気持ちを切り替え、娘はまたプールに入り、
 レッスンに戻れたのです。そんな優しさに感
 謝していると思います。
 週1回1時間、親から離れて過ごすレッス
 ンの時間は、コーチと友達と過ごす貴重な時
 間です。笑ったり、耐えたり、挑戦したり。
 検定に受からず悔しい思いをしたり、褒めら
 れ喜んだり、いろいろな経験をさせてもらっ
 ています。少しずつ成長しています。
 3年の積み重ねでさらに嬉しいことがあり
 ます。それは、コーチやスタッフの方に会う
 と挨拶をしてもらえることです。元気で笑顔
 の挨拶は気持ちのいいものです。ある歌に『
 あいさつは仲間のあかし』とあります。今年、
 その歌を耳にしたのですが、なんとなく日々
 してきた挨拶にそのような意味があるのか、
 と気付かされました。だからセントラルで交
 わす挨拶は仲間のあかし！少し嬉しく思いま
 した。引越しをして知っている人がいなかっ
 た私達に仲間ができていました。子ども達に

とっては、コーチ達の年齢の方と接する機会
 は少ないので、素敵な仲間ができたと思っ
 ています。コーチのように泳げるようになり
 たい。コーチのように明るい人間になりたい。
 コーチのように大きくなりたい。どこかで憧
 れの人になっっているのかもしれない。
 セントラルに通った初日、大泣きしたり、
 不安になっていた子ども達が、今ではとて
 楽しく通っています。コーチと挨拶をしたり、
 何か話せた日はラッキーな日。笑顔が一つ増
 えます。勝手ながらのお願いですが、そんな
 素敵な仲間とお別れはさみしいものです。
 今、おられるコーチがいつまでもいてくれ、
 レッスンを教えてくださいますように。さらに
 成長させてもらいたいです。子ども達もでき
 るようになったことが自信になっています。
 仲間といつまでも楽しく過ごしたいです。